



■活動日：2025年3月8日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 8名

■活動内容

- ・今回の活動では、少し予定を追加し、栗とヤマモモの剪定、果樹の消毒、竹林の間伐、巣箱確認をしました。
- ・栗とヤマモモは、大きく育ち過ぎて収穫しにくくなっていました。真上に伸びる大枝を何本か切りました。
- ・柑橘類にとり3月は、新芽や根の活動が始まる前の重要な時期で、病害虫予防・元肥・剪定が必要。今回は気温の低い間にやる必要があるハーベストオイルの散布を行いました。
- ・フクロウは未だ営巣していませんでした。今回はムササビの画像が沢山取れていて、ムササビが2つの巣箱を2匹で利用している様子や、ムササビがフクロウに攻撃され巣箱の中へ逃げ込む様子が写っていました。
- ・参加頂いた8名の皆さん。本当にお疲れ様でした。

■次回の活動

- ・次回（3月22日）は、竹林間伐、果樹の施肥・剪定、巣箱確認等を予定しています。

栗の剪定



左) 切り落とした枝で、ヤマモモの木に被害が出ないように皆でロープを引いてコントロール。中) 切った枝はチェーンソーで解体。右) 解体した枝は、斜面を引きずって降ろして、焚きつけ用に基地横に積み上げました。

果樹の消毒とカラスに突かれた実



ハーベストオイル等を散布し果樹の消毒を行いました



実の皮が散乱していたので、網に穴?と心配しましたが、カラスでした。



フクロウとムササビ



左) ムササビが2つの巣箱を2匹で利用しています。中) ムササビが必死に巣箱に入りました。右) その1・2秒後、右上から左下にフクロウが飛び込んできました。(DSCF0252.AVI)

竹林の間伐



密集林の為、切った竹は大抵他の竹に引っかかります。こうなると、押したり引いたり途中で切ったり。良いタケノコが出るよう頑張ります。

栗の木に小鳥の巣



剪定した栗の枝の先端に鳥の巣が付いていました。(メジロの巣でした。)

活動頂いた8名のメンバーの皆さん



活動お疲れさまでした。

シイタケ



雨が続いたのでシイタケが沢山取れました。厚手で、大きいものも、小さいものも、美味しいんです。



以上